

「要配慮者利用施設における避難確保計画の作成・確認のポイント」

- 避難確保計画を作成する施設管理者等、及びその計画を確認し助言等を行う市町村職員向けに、避難確保計画の作成又は確認時において、避難の実効性を確保する上で基本となるポイントや注意すべきポイントについて理解を深め、計画の充実・改善を図っていただくことを目的とした学習用動画。
- 国土交通省で公表している「計画様式」や「チェックリスト」に沿って、項目ごとの留意点について分かりやすく解説しています。

○国土交通省で公表している「計画様式」や「チェックリスト」に沿って、項目ごとの留意点について分かりやすく解説しています。

URL: <https://youtu.be/Va4O0F33ucs> 【国土交通省YouTube】



【動画の画面例】

**要配慮者利用施設における
避難確保計画の作成・確認のポイント**

令和5年3月
国土交通省水管理・国土保全局
河川環境課・砂防計画課

【計画様式】

お取組

社会福祉施設 避難確保計画

対象災害：水害（洪水 雨水出水 高潮・津波）
土砂災害（谷崩れ等）、土砂害・地すべり

2022 年 4 月作成

この計画は、災害発生時の被害の軽減、人命の確保、財産の保護、業務の継続を図ることを目的とし、関係機関・関係団体と連携し、関係機関・関係団体の協力を得て作成したものである。

【チェックリスト】

＜避難確保のチェックポイント＞

避難確保の責任者（責任者の確認）	避難確保	避難先
チェック項目	チェック項目	チェック項目
災害発生時に、避難確保責任者が避難の要請を受けること	① 避難先が確保されていること	① 避難先が確保されていること
災害発生時に、避難確保責任者が避難の要請を受けること	② 避難先が確保されていること	② 避難先が確保されていること
災害発生時に、避難確保責任者が避難の要請を受けること	③ 避難先が確保されていること	③ 避難先が確保されていること
災害発生時に、避難確保責任者が避難の要請を受けること	④ 避難先が確保されていること	④ 避難先が確保されていること
災害発生時に、避難確保責任者が避難の要請を受けること	⑤ 避難先が確保されていること	⑤ 避難先が確保されていること
災害発生時に、避難確保責任者が避難の要請を受けること	⑥ 避難先が確保されていること	⑥ 避難先が確保されていること
災害発生時に、避難確保責任者が避難の要請を受けること	⑦ 避難先が確保されていること	⑦ 避難先が確保されていること
災害発生時に、避難確保責任者が避難の要請を受けること	⑧ 避難先が確保されていること	⑧ 避難先が確保されていること
災害発生時に、避難確保責任者が避難の要請を受けること	⑨ 避難先が確保されていること	⑨ 避難先が確保されていること
災害発生時に、避難確保責任者が避難の要請を受けること	⑩ 避難先が確保されていること	⑩ 避難先が確保されていること

【施設名： ○○○○ホーム】

※ 計画様式やチェックリストは、所在する市町村で独自に用意している場合があります。

※ 避難確保計画を作成する際は、市町村に確認ください。

2. 災害リスク等の確認		
模式 1 3 施設が有する災害リスク		
水害(洪水、雨 洪水浸水想定区 域) (洪水)	☒ 浸水深、浸水継続 時間を確認	0.5m~3m 1日~3日未満 特定区域の該当の有無
雨水出水浸水想定区域 (雨水出水)	☐ 該当なし	☐ 該当なし ☒ 該当 最大浸水深 浸水継続時間 0.5m~1m 12時間~1日未満
高潮浸水想定区域 (高潮)	☐ 該当なし	☒ 該当 最大浸水深 浸水継続時間 0.5m~3m 1日~3日未満
津波災害警戒区域 (津波)	☐ 該当なし	☒ 該当 基準水位 最大浸水深 2m 津波到達時間 50分
土砂災害		
土砂災害特別警戒区域 土砂災害警戒区域	☐ 該当なし	☒ 該当 (以下の該当する分類に☑) ☒ げけ崩れ(急傾斜地の崩壊) ☐ 土石流 ☐ 地すべり(地滑り)

5. 避難誘導

様式4-6 避難誘導

① 原則、施設利用者の適切な支援を提供できるA会（系列グループホーム）に立退を避難をする。
 ② 避難する時間が確保できない場合は、指定緊急避難場所に立退を避難をする。

洪水	避難先名称	移動距離	避難方法			避難に要する時間	避難開始基準
			徒歩	車	その他機材		
系列施設や他の避難所へ移動	A会（系列グループホーム）	1,000 m	☒	4 台	車椅子	1時間	警戒レベル3 高齢者等避難
指定緊急避難場所	B小中学校（2階以上）	500 m	☐	☒	4 台 車椅子	45分	警戒レベル3 高齢者等避難
近隣の安全な場所	〇〇ビル	200 m	☐	☒	4 台 車椅子	30分	警戒レベル3 高齢者等避難
屋内安全確保	本施設2階〇〇室	50 m	エレベーター、車椅子、ストレッチャー			15分	警戒レベル3 高齢者等避難

☑ 避難方法や避難に要する時間を確認